

地域連携センター

NEWS

2014.3

3

CONTENTS

- 地域連携センター長・地域交流部門長あいさつ 2
- 女性生涯学習研究部門長あいさつ 2
- 産学官地域連携部門長あいさつ 2
- 平成25年度事業報告

【地域交流部門】

- 出前講義等 3 - 4
- 教員免許状更新講習 4
- 他機関との連携等 5
- 地域との交流、イベントへの参加 6
- 本学主催イベント 7

【産学官地域連携部門】

- 開催した講演会・セミナー 8 - 10
- 参加した展示会 11
- 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況 11
- 産学官連携研究事例 11

【女性生涯学習研究部門】

- 公開講座・講演会一覧 12
- 福岡女子大学公開講座 13
- 連携公開講座・講演会 14
- お知らせ 15
- 平成26年度公開講座のご案内 16



平成25年度福岡女子大学特別講演会「ちゃんと、ごはん」



地域連携センターが生まれ変わります

地域連携センター長・地域交流部門長

吉村 利夫 副学長・国際文理学部 環境科学科 教授

早いもので平成23年4月に福岡女子大学・地域連携センターが発足して、丸3年が過ぎました。この間、さまざまな活動に取り組んでまいりました。女性生涯学習研究部門では、従来の公開講座に加え、平成24年度からは同窓会筑紫海会と共催の特別講演会や、東部地域大学連携（九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学）による市民講座を開催しています。産学官地域連携部門では、技術交流会や各種セミナーの実施に加え、学内外の共同研究を推進しています。地域交流部門では、高校生のためのイングリッシュ・キャンプや、おもしろ理科実験教室などを開催し、また、香住丘校区を中心とした地域の諸活動にも積極的に参加しています。夏祭り、香住っ子ひろば、そば打ち体験教室、ニューイヤーパーティでは、留学生を含めた本学の学生が参画し、地域の皆様との交流を深めています。このような活動は、学生の視野を広める点で、とても有効であると感じています。

平成26年4月からは研究室、図書館、体育館などと共に、地域連携センターも新校舎に移動し、新たな活動がスタートします。今後ますます地域の方々との結びつきを強め、親しんで頂けるよう、教職員・学生が一体となって努力する所存です。どうか引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。そして、「新生・地域連携センター」にご期待ください！



皆様の「自己実現」のためのお手伝い

女性生涯学習研究部門長

山田 真知子 国際文理学部 環境科学科 教授

女性生涯学習研究部門は、女性そして地域の皆様が自己を実現されるために、生涯のいつでも学習できることを目的に、約30年前に発足しました。最近では、事業の一環として、同窓会の筑紫海会と連携して特別講演会を開催しています。今年度は、当大学の卒業生で「空飛ぶ料理研究家」と称される村上祥子先生に「ちゃんと、ごはん」、大学卒業後に世界一人旅をされ現在は「株式会社CROSS FM代表取締役社長」の徳田和嘉子氏に「チャンスをつかむ秘訣」と題してご講演をいただきました。どちらも多くの方々にご出席いただき、好評を博しました。また、当部門では文学や健康に関する公開講座や、地域の課題を取り扱う大学連携講座の他、研究助成も行っています。皆様が生涯学習をなさるため、多くのご要望をお待ちしています。



産学官地域連携活動を振り返って

産学官地域連携部門長

石川 洋哉 国際文理学部 食・健康学科 准教授

私が本部門の長に適任かどうかはさておき、本学の産学官連携研究の推進と地域への貢献を目的として、センター事務職員の方々と共に積極的に活動した1年でした。部門としての活動は、エコテック展示会、産学官地域連携セミナー、技術交流会および知的財産権セミナーでしたが、いずれの企画においても地域、地元企業・関係者の興味が大きいと感じさせられました。換言すれば、地域社会に大きな貢献が出来る土壌が着実に育ってきていると言うこととなります。地域の関連大学との連携活動も含めて、地域貢献の方法を模索しつつ、次年度も粉骨砕身努力していきたいと思っております。関連の教員・事務職員への負担は増えることになるかと思いますが、その努力が大きな喜びに変わるまで。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

出前講義等

1. 出前講義

	開催日	学 校 名	学年	人数	教員名	内 容
1	6月 12日(水)	福岡県立八幡南高等学校	1,2	29	片桐 義範	チーム医療で取り組む栄養管理
2	12日(水)	福岡県立八幡南高等学校	1,2	24	片桐 義範	チーム医療で取り組む栄養管理
3	12日(水)	福岡県立城南高等学校	2	49	弓削 昌弘	クローンと再生医療 -iPS細胞の現在と未来-
4	19日(水)	福岡県立城南高等学校	2	28	深町 朋子	日本の面積は世界第何位? -海と日本と国際法-
5	7月 5日(金)	大分県立中津北高等学校	3	27	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
6	19日(金)	福岡県立古賀寛成館高等学校	1,2	33	月野 文子	万葉のユーモア(諧謔)
7	19日(金)	福岡県立古賀寛成館高等学校	1,2	30	月野 文子	万葉のユーモア(諧謔)
8	8月 2日(金)	福岡県立八女高等学校	1,2	21	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
9	9月 18日(水)	野田学園高等学校(山口県)	1,2	13	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
10	10月 10日(木)	福岡県立小倉東高等学校	1,2	11	水元 芳	将来の仕事としての国際協力
11	10日(木)	福岡県立小倉東高等学校	1,2	11	水元 芳	将来の仕事としての国際協力
12	18日(金)	福岡県立鞍手高等学校	1	18	和栗 百恵	「世界と出逢う」ということ
13	23日(水)	熊本県立東稜高等学校	2	14	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
14	23日(水)	熊本県立東稜高等学校	2	11	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
15	29日(火)	福岡県立新宮高等学校	2	34	坂本 浩一	日本語とコミュニケーション文化
16	30日(水)	佐賀県立鳥栖高等学校	1,2	34	張 艶	文化で見る日本と中国
17	30日(水)	佐賀県立鳥栖高等学校	1,2	34	張 艶	文化で見る日本と中国
18	31日(木)	久留米信愛女学院高等学校	2	15	大久保順子	江戸時代の「怪談」に学ぶ
19	11月 7日(木)	福岡県立糸島高等学校	2	27	橋本 直幸	外国人はどうやって日本語を習得するのか
20	13日(水)	福岡県立伝習館高等学校	1,2	31	石川 洋哉	食品のはたらきを考える
21	14日(木)	福岡県立筑前高等学校	2	18	吉村 健清	疫学ってな〜んだ? 病気の予防に役立つの?
22	12月 5日(木)	福岡双葉高等学校	1,2	94	金 希京	多言語・多文化社会に生き残るためには
23	7日(土)	九州国際大学付属高等学校	1~3	29	向井 剛	英語のリズムとイントネーション指導
24	2月 21日(金)	福岡県立福岡中央高等学校	2,3	18	片桐 義範	チーム医療で取り組む栄養管理
25	21日(金)	福岡県立福岡中央高等学校	2,3	29	和栗 百恵	大学で学ぶということについて
26	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	13	月野 文子	万葉のユーモア(諧謔)
27	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	10	月野 文子	万葉のユーモア(諧謔)
28	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	30	向井 剛	日本語と英語を比較する
29	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	27	向井 剛	日本語と英語を比較する
30	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	32	深町 朋子	日本の面積は世界第何位? -海と日本と国際法-
31	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	37	深町 朋子	日本の面積は世界第何位? -海と日本と国際法-
32	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	17	沖田 千代	食生活への栄養学の活用
33	22日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	19	沖田 千代	食生活への栄養学の活用



出前講義
2月22日(土)
福岡県立香住丘高等学校
(p.3)



職場体験学習
9月11日(水)
福岡女子大学 植物細胞工学研究室
(p.4)



城香フェスタ ~JOKO in Asia~
10月19日(土)
福岡市立城香中学校
(p.4)



教員免許状更新講習(国語)
8月3日(土)
福岡女子大学 視聴覚室
(p.4)

地域交流部門

2. スーパーサイエンスハイスクール(SSH)*

【福岡県立香住丘高等学校】 平成25年度 SS科学探究Ⅱ(環境科学探究講座)

実施日	学年	時間	人数	教員名	内 容
1 4月 24日(水)	2	60分	40	佐藤 一紀 山田真知子 池田 宜弘 田村 典明	事前学習
2 5月 8日(水)	2	100分	20	山田真知子 大坪 繭子	アサリは多量の赤潮生物を食べて海水を浄化するのに、何故、メタボにならないのか?!
3 5月 8日(水)	2	100分	20	池田 宜弘	酸と塩基の反応と緩衝作用を調べる
4 5月 15日(水)	2	100分	20	田村 典明 大坪 繭子	光合成:光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる。
5 5月 15日(水)	2	100分	20	佐藤 一紀 山口 容子	ヨウ素呈色法による唾液アミラーゼ作用の測定
6 6月 5日(水)	2	60分	40	黒木 昌一 馬 昌珍 猪股 伸幸 松尾 亮太	事前学習
7 6月 12日(水)	2	50分	20	猪股 伸幸 美濃部純子	キイロショウジョウバエ唾腺染色体の観察
8 6月 12日(水)	2	100分	20	馬 昌珍	火力発電モテル実験と排ガスの測定
9 6月 26日(水)	2	100分	20	松尾 亮太 美濃部純子	ナメクジの学習行動
10 6月 26日(水)	2	100分	20	黒木 昌一	フラクタル次元を測る。

【福岡県立小倉高等学校】 平成25年度 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

実施日	学年	時間	人数	教員名	内 容
1 4月~3月	2	-	8	池田 宜弘	SS環境科学研究会生徒の研究指導(期間:平成25年4月~平成26年3月)
2 7月 2日(火)	2	90分	20	田村 典明	SSH体験学習事前学習会
3 8月 1日(木)	2	1日	12	田村 典明 大坪 繭子	SSH体験学習 光合成:光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる。

3. その他

【高等学校】

実施日	学校名	内 容
1 8月 21日(水)	福岡県立戸畑工業高等学校	WJC**留学生(3名)の「国際交流会」への派遣
2 11月 6日(水)	福岡県立香住丘高等学校	WJC留学生(9名)、教職員(3名)が創立記念芸術鑑賞会へ伺い能楽鑑賞
3 12月 6日(金)	福岡県立香住丘高等学校	「スーパーサイエンスハイスクール 平成25年度 課題研究発表会・研修成果報告会」(共催)、 本学環境科学科吉村利夫教授による講演「身のまわりのプラスチック」 (本学大会会館2階大ホール・多目的ホールにて開催)
4 3月 6日(木)	福岡県立香住丘高等学校	WJC留学生(1名)がSSH海外研修(高校2年生10名が参加)の事前学習に参加

【中学校】

実施日	学校名	教員名	内 容
1 9月 11日(水)~13日(金)	福岡市立香椎第2中学校	田村 典明(植物細胞工学研究室) 近藤 紘之(環境保全学研究室) 山田真知子(環境生物学研究室) 石川 洋哉(食品学研究室) 吉村 利夫(生活環境材料学研究室)	職場体験学習(福岡女子大学で受入) 各研究室にて実験準備補助、生協)ショップ(売店)業務補助等 9月11日(水):植物細胞工学研究室、環境保全学研究室 9月12日(木):生協)ショップ、環境生物学研究室 9月13日(金):食品学研究室、生活環境材料学研究室
2 10月 19日(土)	福岡市立城香中学校	スウェン・ホルスト	城香フェスタ~JOKO in Asia~ ゲストティーチャーとして1年生の授業を担当
3 10月 19日(土)	福岡市立城香中学校	スウェン・ホルスト	城香フェスタ~JOKO in Asia~ ステージ発表 オープニングステージ 壮舞「八島」
4 1月 27日(月)	福岡市立香椎第3中学校	藤岡 留美子	「環境・福祉」学習:生活環境「衣・住」分野のインタビュー (総合的な学習の時間)(1年生2名を福岡女子大学で受入)
5 2月 5日(水)	山口県立下関中等教育学校	和栗 百恵	講演「4000億分の1をどう生きたい?」 (3回生113名を対象に山口県立下関中等教育学校で講演)

教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択の2科目(国語、理科)について、次のとおり開設しました。
(参加者延べ139名)

1. 国語	時間数:6時間	実施場所:視聴覚室、階段教室他
実施日	タイトル	担当講師
1 8月 3日(土)	「国語」教材の購読Ⅰ	月野 文子(福岡女子大学国際文学部教授) 工藤 重矩(福岡女子大学客員教授)
2 8月 4日(日)	「国語」教材の購読Ⅱ	今井 明(福岡女子大学国際文学部教授) 大久保順子(福岡女子大学国際文学部准教授)
3 8月 5日(月)	「国語」教材への視点	橋本 直幸(福岡女子大学国際文学部講師) 鈴木 暁世(福岡女子大学国際文学部講師) 矢野 準(福岡女子大学国際文学部教授)
4 8月 6日(火)	境界を超える「文学」・「歴史」・「ことば」	渡邊 俊(福岡女子大学国際文学部講師) 今井 明(福岡女子大学国際文学部教授) 坂本 浩一(福岡女子大学国際文学部准教授)
2. 理科	時間数:6時間	実施場所:多目的ホール、情報処理演習室他
実施日	タイトル	担当講師
1 8月 14日(水)	環境問題をわかりやすく多面的に捉える(1) 生命と環境の関わり(環境と細胞の分化)	森田 健(福岡女子大学国際文学部教授) 弓削 昌弘(福岡女子大学国際文学部准教授)
2 8月 15日(木)	環境問題をわかりやすく多面的に捉える(2) 生活のリスク評価と環境データ分析	藤野 友和(福岡女子大学国際文学部講師) 錦谷まりこ(福岡女子大学国際文学部准教授)
3 8月 16日(金)	環境問題をわかりやすく多面的に捉える(3) 循環型社会のごみ処理と里山の持続可能性	野馬 幸生(福岡女子大学国際文学部教授) 嶋田 大作(福岡女子大学国際文学部講師)

*SSH=文部科学省スーパーサイエンスハイスクール
**WJC=外国人留学生向けの短期留学プログラム(The World of Japanese Contemporary Culture Program)

他機関との連携等

福岡教育大学、福岡工業大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡女子大学、西日本新聞社共同企画

株式会社レベルファイブ代表取締役社長/CEO 日野晃博氏 特別講演会

日 時:5月25日(土) 13:00~15:30
場 所:福岡工業大学 FIT ホール
参加者:45名程度(学生約40名、教職員5名)

本企画は「国際交流」及び「環境」をテーマとし、初めて開催されました。プレイベントでは、テーマに沿った各大学の学生活動紹介が行われました。本学からは、JD-Mates(活動内容:留学生の修学・生活面のサポート)及びE.S.S.(活動内容:英語力向上を目指す活動、英語劇の上演等)に所属する学生が、スライドや映像を使った活動紹介の発表を行いました。また、本イベントの司会を本学の放送サークルが担当しました。



続いて、「福岡から世界へ〜エンターテインメントブランドの挑戦〜」と題して、株式会社レベルファイブ代表取締役社長/CEO 日野晃博氏 特別講演会が行われました。日野社長は、「自分たちの身近な人たちの楽しませることがグローバルにつながる」ことを話されました。会場の学生たちは熱心に講演を聞き、講演会後の質疑応答でも、学生から多くの質問が出ていました。

東部地域大学連携
飲酒運転撲滅キャンペーン活動

日 時:8月25日(日) 15:00~16:00
場 所:JR香椎駅、JR九産大前駅、JR福工大前駅
参加者:9名(学生9名)



東部地域大学連携協定に基づき、福岡県東警察署と連携し、九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学の学生が、各大学のJR最寄駅で飲酒運転撲滅キャンペーン活動を行いました。

九州産業大学最寄駅の九産大前駅、福岡工業大学最寄駅の福工大前駅、福岡女子大学最寄駅の香椎駅の各駅にて、東警察署の警察官の方々と地域の方々、チラシやティッシュ等を配り、飲酒運転撲滅を呼びかけました。それぞれの駅に3大学から学生がキャンペーンに参加しました。

東部地域大学連携協定は、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、平成23年度に締結されました。今回の活動は、その一環として行われたものです。

東部地域大学連携
自転車安全利用啓発キャンペーン

日 時:12月18日(水) 16:30~17:30
場 所:JR香椎駅、JR九産大前駅、JR福工大前駅
参加者:6名(学生6名)

8月の飲酒運転撲滅キャンペーン活動に続き、3大学の学生と警察が協力し、自転車安全利用啓発キャンペーンを実施しました。学生たちは、改正道路交通法の子

ラシ等を配り、自転車の安全利用を呼びかけました。

福岡市香住丘公民館共催
留学生と地域の皆さんとのそば打ち体験教室

日 時:11月23日(土) 10:00~12:30
場 所:福岡市香住丘公民館 講堂
参加者:23名(WJC留学生20名、教職員3名)



福岡市香住丘公民館と共催し、昨年度に引き続き、今年度で2回目の開催となりました。これは、そば打ちという日本の文化体験とおとして、地域の方々や留学生とが楽しく交流を深めることを目的としています。

そば打ちに参加した本学 WJCプログラムで学ぶ留学生は、福岡そばの会の皆様の指導の下、熱心にそば打ちに取り組みました。また、打ちたてのおいしいそばを味わいながら、地域の方々との交流を楽しみました。

連携協定に基づく福津市との連携(学生)

- 保育園食育活動
日 時:9月24日(火) 10:00~11:00
場 所:社会福祉法人天真会 真愛保育園(福津市)
内 容:公衆栄養学研究室の学生及び食・健康学科の学生が保育園で食育活動を行いました。
- 郷育カレッジ開講10周年記念祭
日 時:9月28日(土) 10:00~15:00
場 所:福津市中央公民館
内 容:本学放送サークルがステージプログラムの司会を担当しました。
- 郷育カレッジ
日 時:1月9日(木) 10:30~13:30
場 所:福岡女子大学
内 容:受講生の方に本学にお越しいただき、本学の学生が郷育カレッジの一講座「女子大生の企画に参加しよう!」を担当しました。
- 第9回環境フォーラムinふくつ
日 時:2月16日(日) 13:00~17:00
場 所:イオンモール福津
内 容:本学放送サークルがステージプログラムの司会及び各イベントへの案内を担当しました。
- あんずの里市(福津市勝浦)との連携事業
日 時:隔週 17:50~18:50
場 所:福岡女子大学 図書館入口付近、1階ロビー
内 容:生産者の方との交流及び旬の野菜、手作りお菓子、加工品、花卉等の販売を行いました。

連携協定に基づく福津市との連携(教員)

- コミュニティ・スクール神興東
期 間:平成23~28年度事業
場 所:福津市立神興東小学校
教 員:早瀬 仁美(国際文学部教授)
内 容:子どもたちの健全な生活習慣の形成を目的に、早寝・早起き・朝ご飯と健康状態やお手洗いの状況を調査し、食育の普及を図り、その経過を調査し成果を検証します。また、保護者を対象に食育講演会、子どもたちを対象に食育活動を実施します。
- 福津市委員等
①福津市食育推進審議会
委員名:福津市食育推進審議会会長
教 員:水元 芳(国際文学部准教授)
期 間:平成25年4月1日~平成27年3月31日
②「食の街道」協議会委員
委員名:「食の街道」協議会委員
教 員:水元 芳(国際文学部准教授)
期 間:平成25年10月15日~平成26年3月31日
- 郷育カレッジ
日 時:10月26日(土) 10:00~11:30
場 所:福津市立福岡東中学校
教 員:スウェン・ホルスト(国際文学部准教授)
講座名:中学生とドイツの日常生活を学ぼう!
内 容:観光地や環境先進国、車メーカーとしても人気のドイツ。実際のドイツはどんな国なのかについて、中学生と一緒に、ドイツ人の先生から学ぶという講座を担当しました。



地域交流部門

地域との交流、イベントへの参加

香住っ子ひろば(通年)

日時：土曜日 10:00～15:30(月3～4回程度)
場所：福岡市香住丘公民館
参加者：延べ40名(学生・留学生40名)

「香住っ子ひろば」とは、小学校週5日制導入をきっかけに、子どもの居場所づくりのため、香住丘校区の皆さんの協力により始まったものです。香住っ子ひろばでは、小学生が公民館で、ボランティアさんと一緒に勉強をしたり、囲碁、茶道、手芸、音楽、料理を習ったり、小学校の体育館でスポーツをしたりして活動を楽しんでいます。

本学は、平成24年4月から活動のお手伝いをして地域の小学生と交流を深めています。



第52回博多どんたく港まつり 東区演舞台

日程：5月3日(金)、4日(土)
場所：東区演舞台(福岡市東区)
参加者：延べ28名(学生・留学生25名、教職員3名)

第52回博多どんたく港まつり東区演舞台に本学の学生及び留学生約20名が、着物と花笠姿で参加しました。

当日を迎えるにあたり、地域の日舞の先生から、事前に輪踊りを教えていただき、当日の着物をお貸しいただきました。

5月3日は、「すこやかウォーキング大会」(福岡市東区役所主催)の開会式にて、輪踊りを教えていた

だいた日舞の先生方と演舞台に出演しました。

5月4日には、地域の方々と一緒に「東区音頭」「博多どんたく」を踊りました。練習の成果を発揮でき、先生から、輪踊りがよかったとのお言葉をいただきました。また、練歩きにも参加しました。

福岡のおまつりの雰囲気と地域の方々との交流を楽しむことができました。



香住丘校区夏祭り

日時：7月27日(土)
場所：香住第2中学校隣の駐車場
参加者：延べ29名程度
(学生・留学生約25名、教職員4名)

香住第2中学校隣の駐車場において、香住丘校区の夏祭りが開催されました。今年度は「ふるさとの音ながらの夏祭り」をテーマに、昨年までのお昼開催と異なり、夕方～夜に開催されました。

今回初めての実施となるキャンドルナイトの準備が当日の午前中に行われ、3名の学生がお手伝いに参加しました。キャンドルや重しの砂を紙袋に入れ、所定の位置に運びました。

また、夜の夏祭りには、25名程度の学生・留学生が浴衣姿等で参加しました。会場では、輪踊りに参加し、きれいなキャンドルと昔ながらのお祭りの雰囲気を楽しむことができました。

香住丘公民館の方々並びに地域の皆様には、学生への浴衣の貸出及び着付けにて大変お世話になりました。誠にありがとうございました。



香住丘校区防犯パトロール(通年)

日時：毎月第3金曜日 20:00～20:50
場所：香住丘校区(福岡市東区)
参加者：延べ28名(学生14名、教職員14名)



本学が位置する福岡市東区香住丘校区では、校区の安全のため、毎月第3金曜日に、校区の防犯パトロールが行われています。校区内を3ルートに分かれ、歩きながらパトロールをします。パトロールでは、地域の方などベテランの方に先導していただきます。

本学は、平成24年1月から、寮生である1年生を中心に、パトロールに参加しています。



香住丘校区のウォーキング大会

日時：5月12日(日) 9:30～14:00
場所：[往路]公民館(準備体操)→あいたか橋→照葉海岸→アイランドシティ中央公園(昼食)
[復路]アイランドシティ中央公園→片男佐橋→公民館(整理体操)
参加者：4名(WJC留学生2名、教職員2名)

香住丘公民館(福岡市東区)からアイランドシティ中央公園までを往復するウォーキング大会に参加しました。景色の良い海岸線を歩いた後、アイランドシティ中央公園で昼食をとりました。昼食後は、アイランドシティ中央公園にある「ぐりんぐりん」(花と緑をテーマとし、蘭や蝶などを展示する施設)を見学しました。復路は、平成25年3月3日(日)に開通した「あいたか橋」(アイランドシティと香住ヶ丘とをつなぐ海上遊歩道。全長430m、幅4m)を通過して公民館に戻り、おいしいぜんざいをいただきました。地域の方々と一緒にひとときを過ごすことができました。



福岡市立老人福祉センター東香園 教室合同発表会

日時：11月1日(金)、2日(土)
場所：福岡市立老人福祉センター東香園

第1日目には、大広間で保育園児の合唱、フラダンス、コーラスなどの発表が行われました。本学から、国際教養学科のスウェン・ホルスト准教授が仕舞(観世流)「八島」を披露し、会場から盛んな拍手をいただきました。

東香園教室合同発表会への本学教員の出演は、平成24年度に引き続き2回目となります。



本学主催イベント

おもしろ理科実験教室

日時：7月29日(月) 13:30～16:00
場所：福岡女子大学 生活環境学第1実験室(A棟2階)
参加者：19名(小学生13名、学生5名、教員1名)

7月29日(月)、福岡女子大学にて、福岡市立香住丘小学校6年生13名が参加して、おもしろ理科実験教室を開催しました。本学人間環境学部生活環境学科の4年生5名が実験指導を担当しました。

実施した実験内容は次のとおりです。

- (1) 食用油からろうそくを作る
- (2) ケミカルライトが光るしくみを知る
- (3) ペットボトルからせんいを作る
- (4) 顕微鏡で印刷物を観察する
- (5) 高分子吸収材の性能を調べる

参加した小学生の皆さんは、とても熱心に実験に取り組んでいました。夏休みの楽しい思い出になったのであれば、そして、理科の実験に興味を持っていただけたのであれば、幸いです。同様の行事は、来年度も実施する予定です。

なお、本事業は、福岡市東区のコミュニティユース事業に採択され、実施しました。



高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日時：8月10日(土)～12日(月)(2泊3日)
場所：福岡女子大学 D棟、国際学友寮 などでしこ(宿泊)、学生会館1階食堂等
参加者：93名(高校生36名、WJC留学生7名、学生サポーター50名)

8月10日(土)～12日(月)の3日間、福岡女子大学にて、九州各県、山口県、奈良県から、高校1、2年生の女子36名が参加し、イングリッシュ・キャンプを実施しました。講師は、本学学術英語プログラム(Academic English Program: AEP)の担当講師がとめ、すべて英語による全11コマの授業を行いました。

1日目は、留学生やAEP講師へのインタビューを行い、レポートしました。2日目からは、参加者が12グループに分かれて、興味のある国とトピックを決め、プレゼンテーションのためのポスター作りを行いました。最終日には、グループ毎にポスターを用いて、英語によるプレゼンテーションを行いました。閉講式では、優れたグループと個人を表彰し、全員に修了証を授与しました。

参加した高校生は、「国際学友寮 などでしこ」大広間に宿泊し、寮見学、英語を使ったゲームや留学生の母国(ベトナム、タイ、スリランカ、韓国)の料理作りなどを通じ、留学生や学部生との交流を楽しみました。

また、本学の留学生及び学部生が、授業、寮見学、ゲーム、料理作り等で各種サポートを実施しました。特に、留学生は、授業のアシスタントに加え、料理メニューの企画、食材選びから、協力を得ました。学部生は、交流タイム(ゲーム)の運営、学生寮・学生会館・D棟の教室などの会場設営、寮見学、学内移動の際の誘導、授業や料理作りのアシスタント等を行いました。



国際化推進センター共催 留学生との交流会(ニューイヤーパーティ)

日時：1月24日(金) 18:30～20:00
場所：福岡女子大学 学生会館1階食堂
参加者：199名(来賓27名、学生・留学生150名、教職員22名)

1月24日(金)、本学学生会館1階食堂にて、本学国際化推進センターと共催で、留学生との交流会を開催しました。

広く、多くの方が気軽に国際交流できる機会を作ることを目的に、平成23年度より日本人学生・留学生の共同企画で実施しています。平日の夜にもかかわらず、地域の方々・本学同窓会筑紫海会の方々・本学学生・留学生・教職員など、多くの方に足を運んでいただきました。

交流会では、日本人学生によるダンス、留学生による歌、WJC留学生による劇が披露されました。また、実行委員会の学生によるゲームの際には、受付の際に受け取ったネームカードに書かれたアルファベットによって来場者全員がグループに分かれ、ゲームに参加しました。ゲームでは、雑学クイズが話題され、グループで話し合い、答えを決めました。正解発表の際には大変盛り上がりがありました。ご来場いただいた方から、交流会をお楽しみいただいた旨のお言葉を頂戴しました。

交流会実施にあたり、ご協力・ご支援いただきました皆様、ご来場いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



産学官地域連携部門

産学官地域連携部門は、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などの実施によって、産学官連携を推進します。また、一方で、地域企業等からの研究に関連した相談の窓口となっています。

開催した講演会・セミナー

福岡女子大学地域連携センター2013年度セミナー 「COP18を踏まえた温暖化対策の最新動向～東アジアの動きも展望して～」

日時：4月24日(水) 16:20～17:50
場所：福岡女子大学視聴覚室
講師：谷津 龍太郎氏(環境省地球環境審議官)
参加者：81名(学生25名、教職員21名、市民35名)

内容 地球温暖化の科学的知見、地球温暖化対策の国際交渉の経緯及び現在の状況、また、我が国の地球温暖化対策の現状と課題等をご説明いただきました。



谷津龍太郎氏(環境省地球環境審議官)



谷津龍太郎氏による講演の様子

第343回国連講演会「国際社会の経済の潮流と日本」

日時：6月11日(火) 13:00～14:30
場所：福岡女子大学視聴覚室
講師：永井 克郎氏(外務省経済局国際経済課長)
参加者：95名(学生14名、教職員16名、市民65名)
主催：日本国際連合協会福岡県本部
共催：外務省、九州国際大学、福岡女子大学、(一財)西日本文化協会

内容 日本は、各国と二国間やAPECなどアジア太平洋圏の多国間で経済協力を行っており、更にこれからTPPの交渉にも参加することになるといった国際経済連携のそれぞれの枠組みの目的や、日本への影響などについてご説明いただきました。



永井克郎氏(外務省経済局国際経済課長)



永井克郎氏による講演の様子

科研費セミナー

日時：9月10日(火) 13:30～14:50
場所：福岡女子大学視聴覚室
講師：清水 邦義氏(九州大学農学研究院助教)
大住 圭介氏(福岡女子大学国際文学部教授)
参加者：37名(教職員37名)

内容 平成26年度科学研究費助成事業への応募に向けて、わかりやすい申請書を作成するためのポイント等について解説いただきました。



清水邦義氏による講演の様子

国公立大コンソーシアム・福岡平成25年度公開講座 「九州の再生可能エネルギーを考える～未来を拓く取組み～」

日時：9月25日(水) 13:30～16:30
場所：西南学院大学 西南コミュニティーセンター
参加者：98名
主催：国公立大コンソーシアム・福岡(福岡女子大学：公開講座担当、福岡工業大学、九州大学、西南学院大学)

<講演1>「九州における環境エネルギー政策～地域活性化と地域力の観点から～」

講師：近藤 加代子氏(九州大学芸術工学研究院准教授)

内容 地域におけるバイオマス利用の様々な事例(自治体：福岡県大木町、岡山県真庭市、高知県幡豆(ゆすはら)町、企業：南国興産株式会社)を、成功のポイント(計画力、参加、連携、複合利用)の解説を交え、ご紹介いただきました。

<講演2>「九州の新たな社会システムと再生可能エネルギー」

講師：堀尾 容康氏(九州大学炭素資源国際教育センター教授)

内容 エネルギーの国家規模から地域規模への移行、エネルギー消費についての九州モデルの海外展開の可能性等についてご説明いただきました。また、コミュニティ発電所や節電所といった新たな考え方についてもご説明いただきました。

<総括講演>「太陽光発電の未来～九州の可能性～」

講師：桑野 幸徳氏(太陽光発電技術研究組合理事長、元三洋電機株式会社代表取締役社長)

内容 太陽電池の研究開発及び普及に長年携わってこられた桑野幸徳氏から、九州における太陽光発電等の再生可能エネルギーのポテンシャルの高さについて、データに基づく、具体的にわかりやすいご説明を頂きました。また、世界が超電導ケーブルでつながることで、太陽光発電で得たエネルギーを世界で融通し合う「ジェネシス計画」についてもご紹介いただきました。講演終了後には、参加者から熱心な質問が寄せられました。



近藤加代子氏(九州大学芸術工学研究院准教授)



堀尾容康氏(九州大学炭素資源国際教育センター教授)



桑野幸徳氏(太陽光発電技術研究組合理事長)

産学官地域連携セミナー「食と健康を考える2013」

日時：10月4日(金) 14:20～18:00
場所：福岡ビジネス創造センター(FBCC)
講師：今村 真士氏(株式会社フランチア研究開発部技術開発課)
岡本 結乃氏(独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター管理栄養士)
参加者：57名(学生48名、教職員4名、市民5名)

内容 今村真士氏には、「パンのおいしさと健康への取り組み」と題して、「おいしさ」と「健康」に対する食品企業としてのアプローチを具体的な事例を交えながらご紹介いただき、岡本結乃氏には、「あなたの食生活は大丈夫？美味しく食べて健康ライフ」と題して管理栄養士の立場から、健康な日常生活を送る上での食に関する注意点等についてご解説いただきました。



今村真士氏による講演の様子



岡本結乃氏による講演の様子

産学官地域連携部門

第11回産学官技術交流会「快適な住まいと環境～自然を活かし、自然と共に暮らす～」

日時：11月28日(木) 14:40～17:20
 場所：福岡女子大学視聴覚室
 参加者：167名(学生32名、教職員16名、市民65名)

<講演1>「住まいの光環境」

講師：森田 健氏 (福岡女子大学国際文理学部教授)
 福田 裕美氏 (福岡女子大学国際文理学部助手)

<講演2>「持続可能な発展と森林資源」

講師：嶋田 大作氏 (福岡女子大学国際文理学部講師)

<講演3>「国産杉を活用した住宅建築と産学連携プロジェクトの展開」

講師：安成 信次氏 (株式会社安成工務店代表取締役)
 清水 邦義氏 (九州大学農学研究院助教)

<講演4>「拡大している竹林資源の活用」

講師：森 康浩氏 (福岡県森林林業技術センター資源開発課研究員)

内容 本交流会では、住まいの光環境の問題に関して、光環境が人の心理・生理に対してどのように影響を与えるのか、学術的知見を交えてご紹介いただくと共に、光技術を活用した快適な生活法に関するアドバイスを頂きました。また、森林・竹林資源に関する社会的諸問題を官・学それぞれの立場からご意見いただくと共に、その解決策としての産・学・官連携プロジェクトの成果や今後の展望についてご報告いただきました。



<講演1> 福田裕美氏による講演の様子



<講演2> 嶋田大作氏による講演の様子



<講演3> 清水邦義氏による講演の様子



<講演4> 森康浩氏による講演の様子

知的財産権セミナー

日時：3月4日(火) 13:00～14:30
 場所：福岡女子大学多目的ホール
 講師：堀田 幹生氏(堀田特許事務所 弁理士)
 参加者：8名(教職員7名、関係団体1名)

内容 「活用できる特許権の取得を目指して」をテーマに、特許出願の際の注意点等について分かりやすく解説いただきました。



堀田幹生氏(堀田特許事務所弁理士)

参加した展示会

「エコテック2013」

日時：10月16日(水)、17日(木)、18日(金)
 場所：西日本総合展示場新館

内容 地球環境・新エネルギー技術展にブース出展し、本学で取り組んでいる、「環境」などに関する研究の成果をパネル等で紹介しました。



エコテック2013における福岡女子大学の出展ブース

「ビッグマーケット2014」

日時：2月20日(木)、21日(金)
 場所：福岡国際センター

内容 FBCCゾーンに出展し、産学連携事例として生活習慣病予防に関する共同研究の成果をパネルで紹介しました。



ビッグマーケット2014における福岡女子大学の出展コーナー

共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

種 別	件 数	金 額
共同研究	5	2,160,000円
受託研究	6	4,389,500円
奨学寄附金	12	10,986,850円
科学研究費助成事業(日本学術振興会) 研究代表者分	27	39,565,609円
科学研究費助成事業(日本学術振興会) 研究分担者分	17	9,256,000円
厚生労働省科研費 研究分担者分	3	1,900,000円
平成25年度科学技術人材育成費補助事業 「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」(文部科学省)	1	10,298,690円
計	71	78,556,649円

産 / 学 / 官 / 連 / 携 / 研 / 究 / 事 / 例

「急速加減圧抽出装置を活用した新規食品・化粧品等の開発」

国際文理学部 食・健康学科 石川 洋哉

本学と㈱ワコー、福岡県工業技術センター、西九州大学との連携研究により、平成23・24年度福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業の一環として、「急速加減圧式抽出を用いた緑茶リキュール製造装置」が開発された。本事業では、お茶中のカテキン・アミノ酸等を高濃度に抽出し、新規緑茶リキュールを開発することを目的としてきたが、本装置は汎用性が高く、様々な食品・天然物中の有効成分を低温且つ短時間で抽出可能であり、食品・化粧品などの開発に展開可能な能力を有している。

平成25年度には、福岡ビジネス創造センター支援事業として、上記共同研究機関に加えて、㈱オリーブジャパン、九州大学農学研究院との連携のもと、新たに「福岡県産オリーブを活用した新規機能性食品・化粧品の開発」プロジェクトを開始したが、本プロジェクトの中でも急速加減圧抽出装置の活用を検討している。国産オリーブは、従来香川県小豆島を中心にごく一部の地域でしか栽培されていなかったが、現在オリーブ普及協会、㈱オリーブジャパンが中心となり、九州地区でのオリーブ栽培が積極的に展開されているところである。

本プロジェクトでは、抗酸化、抗肥満、抗アレルギーなど様々な機能を有したオリーブ由来成分を急速加減圧抽出装置により、低温・短時間で効率的に抽出し有効利用することにより、新規食品・化粧品等の企画・開発を目指していく予定である。



「急速加減圧式抽出を用いた緑茶リキュール製造装置」エコテック2013で紹介

女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、年間を通して様々な公開講座・講演会を実施しています。性別・年齢を問わず受講できますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

公開講座・講演会一覧 (会場の記載がないものは福岡女子大学で開催しました)

事業名称	講演概要	講座数	延べ実施日数	延べ受講者数
福岡女子大学公開講座	「Building Practical English Communication Skills」 (5/11～6/22、※6/8除く毎週土曜日) 【定員】先着30名 【対象】英語で日常会話ができる方、またはTOEIC350点～500点の方 J.Lake(福岡女子大学講師)	6	6	63
	「世界を知ろうー学術研究におけるローカルとグローバルー」 ①6月8日(土)「北極海が「海」になるー北極海のカバナスと国際法ー」 深町 朋子(福岡女子大学准教授) ②7月13日(土)「激石、明暗双頭の反転光学」 望月 俊孝(福岡女子大学教授) ③8月10日(土)「華人文化におけるローカルとグローバル」 宮崎 聖子(福岡女子大学准教授) ④10月12日(土)「世界が注目のインド洋地域ーアジアの世紀への期待ー」 バスマシリ・ジャヤセーナ(福岡女子大学准教授) ⑤11月9日(土)「東アジアの『開発』を振り返る:日本と東南アジアの軌跡から」 鈴木 純女(福岡女子大学講師) ⑥12月14日(土)「アジアの経済成長をみる」 張 艶(福岡女子大学准教授) ⑦1月11日(土)「村上春樹の(非)現実的世界観」 スコット・ビュー(福岡女子大学教授) ⑧2月22日(土)「韓国における儒教的家族の現代的変容ー「氏・姓」の機能からみた日韓の比較ー」 岡 克彦(福岡女子大学教授)	8	8	261
	「わたしーなかまーみんなをつなぐものー社会性の心理学ー」 ①10月5日(土)「共感性とウェルビーイング」 鈴木 有美(福岡女子大学准教授) ②10月19日(土)「仲間体験と社会性の発達」 久木山 健一(九州産業大学准教授) ③10月26日(土)「規範意識の育成」 黒川 雅幸(福岡教育大学准教授)	3	3	69
	「続・中国現代文学と九州ー郭沫若の例を中心にー」 (10/24) 武 継平(福岡女子大学教授)	1	1	17
	「古文書で見る江戸時代の京都(3) 体制に挑む町人ー百姓一揆と打ちこわしー」 (12/13) スウェン・ホルスト(福岡女子大学准教授)	1	1	25
連携公開講座	EUJ九州市民講座「未来を描くヨーロッパ」 主催:EUJ九州 共催:福岡女子大学地域連携センター ①6月1日(土)「エラスムス プロジェクト:ヨーロッパ発の学生交流」 八谷まち子(九州大学教授) フォルマシオン・アントニオ(九州大学助教) ②6月15日(土)「オランダにおける男女共同参画」 吉田 信(福岡女子大学准教授) ③6月22日(土)「イギリスの言葉と社会」 村長 祥子(福岡女子大学准教授) ④6月29日(土)「EUのエネルギーー環境政策から日本は何を学ぶか」 蓮見 雄(立正大学教授) ⑤7月6日(土)「EUの危機?ヨーロッパ統合の発展を見直す」 山本 健(西南学院大学准教授)	5	5	142
	東部地域大学連携公開講座・前期講座「福岡の自然と環境」 主催:東部地域大学(九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学) 共催:福岡市 会場:九州産業大学 ①7月19日(金)「和白干潟の生物と環境」 山田真知子(福岡女子大学教授) ②7月26日(金)「福岡市樋井川流域における水循環の再生と防災」 森山 聡之(福岡工業大学教授) ③8月2日(金)「ヒトと自然との接点」 内田 泰三(九州産業大学准教授)	3	3	264
	東部地域大学連携公開講座・後期講座「福岡の歴史と文化」 主催:東部地域大学(九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学) 共催:福岡市 会場:九州産業大学 ①9月27日(金)「貝原益軒の「養生訓」と「慎思録」に学ぶ危機管理ー佐藤一斎の「言志四録」に関連させてー」 上寺 康司(福岡工業大学教授) ②10月4日(金)「福岡東部の「道」とことばの想像力」 大久保順子(福岡女子大学准教授) ③10月11日(金)「福岡東部の文化財と歴史」 渡邊 雄二(九州産業大学教授) ④10月18日(金)「海の中道と志賀島の伝説と史跡」(現地ツアー) 渡邊 雄二(九州産業大学教授)	4	4	436
	福岡県立3大学連携公開講座「食べる・噛む・生きるー食育で作る健康な心と体ー」 主催:福岡県立3大学(九州歯科大学、福岡県立大学、福岡女子大学) 共催:福岡県 ①10月16日(水)北九州会場:九州歯科大学 ②11月29日(金)福岡会場:JR博多シティ会議室 ③12月6日(金)筑豊会場:福岡県立大学 ④1月24日(金)筑後会場:えーるピア久留米	12	4	510
	福岡女子大学オープンワークショップ「統計解析ソフトウェアRの勉強会@福岡 #1」 (3/8) 主催:R勉強会@福岡 共催:福岡女子大学地域連携センター 藤野 友和(福岡女子大学講師) 久保田貴文氏(統計数理研究所) 橋本 司氏(株式会社スカイディスク) 財津 大夏氏(株式会社 paperboy&co.)	1	1	43
連携特別講演会	かすみ祭特別講演会「環境問題について学ぶ」 (11/2) 主催:福岡女子大学かすみ祭実行委員会、国際文理学部環境科学科、地域連携センター、国公立大コンソーシアム・福岡 ①「君は撫子を見たか? 里山保全の経済学」 嶋田 大作(福岡女子大学講師) ②「環境と健康ー正しく見抜くコツー」 安井 至氏(東京大学名誉教授、NITE 理事長)	2	1	39
	福岡女子大学特別講演会「ちゃんと、ごはんー空飛ぶ料理研究家村上祥子のたまねぎ水健康法ー」 (11/8) 主催:福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会 後援:西日本新聞社 会場:レソラNTT夢天神ホール 村上 祥子氏(株式会社ムラカミアソシエーツ代表取締役)	1	1	241
	福岡女子大学特別講演会「チャンスをつかむ秘訣」 (2/8) 主催:福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会 徳田和嘉子氏(株式会社 CROSS FM 代表取締役社長)	1	1	138
合計		48	39	2,248

福岡女子大学公開講座

「世界を知ろうー学術研究におけるローカルとグローバルー」

「世界」をキーワードに、アジアを中心とした国々について、文学や経済等、様々な角度から迫る全8回シリーズの講座です。各回とも、講師の日々の研究内容を中心に紹介しました。



「Building Practical English Communication Skills」

福岡女子大学では、平成24年度から英語能力向上を目指す方向けの講座を開催しています。今年度は、平成23年度に設置した国際文理学部の特色の一つである、学術英語プログラム(AEP: Academic English Program)の教員が講師を担当しました。

「わたしーなかまーみんなをつなぐものー社会性の心理学ー」

福岡女子大学、九州産業大学、福岡教育大学の教員が、それぞれ1回講座を担当しました。この講座では、受講生同士のディスカッションの場が設けられた回もあり、大変好評でした。



ディスカッションの様子



「続・中国現代文学と九州ー郭沫若の例を中心にー」

平成24年度公開講座「中国人講師による現代中国講座」の第1回「中国現代文学と九州ー郭沫若の例を中心にー」の続編です。今回は、郭沫若の日本留学時代のことを中心に、その時代に作られた作品についても解説しました。

「古文書で見る江戸時代の京都(3) 体制に挑む町人ー百姓一揆と打ちこわしー」

平成20年度「古文書で見る江戸時代の京都(1)」、平成21年度「商人と職人ー古文書で見る江戸時代の京都(2)」に続く第3弾です。今回の講座では、主に打ちこわしについて紹介し、会場には講師所蔵の古文書も展示しました。



女性生涯学習研究部門

九州産業大学・福岡工業大学・福岡女子大学

東部地域大学連携公開講座

前期「福岡の自然と環境」/後期「福岡の歴史と文化」

福岡東部地域に位置する九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学は、平成23年11月に東部地域大学連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とした取り組みを行っています。

その一環として、平成24年度から公開講座を開催しており、平成25年度は、前期講座「福岡の自然と環境」と後期講座「福岡の歴史と文化」の2講座を開催しました。会場となった九州産業大学には、毎回、熱心な受講者に多数ご参加いただきました。



九州歯科大学・福岡女子大学・福岡県立大学・福岡県

福岡県立3大学連携県民公開講座

「食べる・噛む・生きる～食育で作る健康な心と体」

福岡県が設置した公立大学法人である九州歯科大学、福岡女子大学、福岡県立大学は、福岡県と連携し、県民の健康維持・増進に貢献することを目的として、平成24年度より、県内4地域(福岡・北九州・筑豊・筑後)で、公開講座「食べる・噛む・生きる」を開催しています。

平成25年度は、乳幼児、学童を含めた若年層をターゲットに、「食育で作る健康な心と体」をテーマとし、各大学の特色を生かした3講演と、福岡県の健康増進施策の情報提供を行い、本学は福岡会場を担当しました。



会場	福岡女子大学講師	演 題
北九州	水元 芳 (国際文理学部准教授)	子どもの将来の生活習慣病を予防するために
福 岡	濱田 俊 (国際文理学部教授)	食べることに、子どもに伝えておきたい5つのこと
筑 豊	沖田 千代 (国際文理学部教授)	子どもの生活リズム(基本的な生活習慣)の育み ～将来の健康への土台として～
筑 後	舟木 淳子 (国際文理学部准教授)	食感を楽しんで健康に

連携公開講座・講演会

福岡女子大学・福岡女子大学同窓会筑紫海会

福岡女子大学特別講演会

福岡女子大学と本学同窓会筑紫海会(つくしみかい)では、平成24年度より、多くの女性のロールモデルとなるような、国内外で活躍する女性リーダーを招聘した特別講演会を開催しています。平成25年度は、次の2講演を開催しました。ともに、会場は満員となり、活発な質疑応答が行われました。

「ちゃんと、ごはん
～空飛ぶ料理研究家 村上祥子のたまねぎ氷健康法～」

11月8日(金)に、本学卒業生で料理研究家・管理栄養士として活躍中の村上祥子先生を講師にお招きした講演会を、レソラNTT夢天神ホールにて開催しました。村上先生には、西日本新聞で連載された「ちゃんと、ごはん」の内容をベースに、発表以来大好評のたまねぎ氷作成実演や、その試食を交えながら、健康な高齢期の在り方について、わかりやすくお話いただきました。



「チャンスをつかむ秘訣」

2月8日(土)に、平成25年度に29歳で株式会社CROSS FM代表取締役社長に就任された徳田和嘉子氏にご講演いただきました。徳田氏には、東京大学卒業後、世界一周52カ国一人旅をされたご経験を中心に、社長就任後の現状についてもお話いただきました。



お知らせ

福岡女子大学基金 学術研究助成金

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています(公募枠)。また、修士・博士前期課程2年生で、各専攻の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円(各専攻1名)の助成金を交付しています(推薦枠)。

募集期間は、毎年5月1日～5月31日です。ご興味をお持ちの方は、福岡女子大学または地域連携センターのホームページ等でご確認ください。

平成25年度の交付について

<公募枠学術研究助成金>

審査の結果、次の1件の研究に対し、助成金を交付しました。

南 優莉奈(福岡女子大学国際文理学部国際教養学科2年)
「シェイクスピア文学におけるジェンダー観と現代のジェンダーステレオタイプについて」

<推薦枠学術研究助成金>

各専攻から次の2件の推薦があり、審査の結果、この研究に対し助成金を交付しました。(国文学専攻、英文学専攻、生活環境学専攻は該当者無のため交付はありません)

堤 裕紀(福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 環境理学専攻)
「我が国沿岸における、海産珪藻Skeletonema属の生物地理学と生体特性」

飯田 綾香(福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 栄養健康科学専攻)
「非アルコール性脂肪肝炎モデルマウスの肝障害進行に及ぼす分岐鎖アミノ酸投与の効果」

新施設

地域連携センターオープン!

福岡女子大学では、平成22年から平成29年までの8年をかけて、新キャンパスの整備を進めています。平成26年4月には、この第一期工事として、研究棟、図書館、体育館とともに、地域連携センターという建物が完成します。

この地域連携センターには、公開講座等を行うセミナー室や託児室があり、地域の皆様にもご利用いただけるよう貸出を行います。詳しくは、福岡女子大学ホームページにてご確認ください。



平成26年度 公開講座のご案内

運動と食事による健康づくり講座－生き生き人生を送るために－

時間:10:00～11:30 受講料:2,000円(全5回分・保険料込) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	講師
1	5月31日(土)	長寿社会における健康づくりについて	金崎 良三 (福岡女子大学教授)
2	6月7日(土)	バランスの良い食事を考えてみましょう	片桐 義範 (福岡女子大学准教授)
3	6月21日(土)	運動・スポーツをどのように生活化するか	金崎 良三 (福岡女子大学教授)
4	6月28日(土)	賢く食べて健康に－何を、いつ食べるか－	江頭和佳子 (福岡女子大学助手)
5	7月5日(土)	【実技】手軽にできる健康・体力づくりのための運動 ※会場:体育館	金崎 良三 (福岡女子大学教授)

持続可能な社会への取り組み

時間:13:30～15:00 受講料:1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	講師
1	6月14日(土)	生きものをういた海健康診断	山田真知子 (福岡女子大学教授)
2	7月12日(土)	日本・アジアの湿地と人々の暮らし:「開発」を考える	岩崎 慎平 (福岡女子大学講師)
3	8月9日(土)	水俣条約について－なぜ今水銀なのか？	岡山 俊直 (福岡女子大学准教授)
4	9月13日(土)	PM2.5、その真相は？	馬 昌珍 (福岡女子大学准教授)

Learning through English: Education, Culture and Communication.

時間:13:30～15:00 受講料:2,000円(全3回分) ※高校生・本学学生無料

定員:20名 対象:英語で日常会話が出来る方、もしくはTOEIC400点以上の方

回	日程	テーマ	講師
1	6月21日(土)	Learning through English: Education, Culture and Communication	Grace Tung (福岡女子大学講師)
2	6月28日(土)		
3	7月5日(土)		

郭沫若の日本亡命

時間:13:00～14:30 受講料:無料

回	日時	テーマ	講師
1	10月23日(木)	郭沫若の日本亡命	武 継平 (福岡女子大学教授)

ヨーロッパの文化と歴史

時間:13:30～15:00 受講料:1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日程	テーマ	講師
1	11月8日(土)	イギリスと言語	村長 祥子 (福岡女子大学准教授)
2	12月13日(土)	『大いなる遺産』の遺産	宮川美佐子 (福岡女子大学准教授)
3	1月10日(土)	第1次世界大戦(1914-1918)とは何だったのか？	馬場 優 (福岡女子大学准教授)
4	2月14日(土)	どうして研究が楽しいのか－フランス・ジャンセニスムの場合－	御園 敬介 (福岡女子大学准教授)

ジェンダーとエスニシティで見るアメリカ文学の女性たち

時間:13:30～15:00 受講料:無料

回	日時	テーマ	講師
1	11月22日(土)	ジェンダーとエスニシティで見るアメリカ文学の女性たち	徳永紀美子 (福岡女子大学教授)

*上記の他、特別講演会や他大学との連携公開講座が開催されます。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

【備考】

- *性別・年齢を問わず受講できます。
- *会場は、記載があるものを除き、福岡女子大学地域連携センターです。
- *学内には駐車場がございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- *悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細は、お電話等でお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。

受講方法

*E-mail、Fax、往復葉書のいずれかに、①希望講座名、②氏名(フリガナ)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥Fax番号(Fax申込の方のみ)をご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。

- センター内託児室にて、託児サービスを始めます(業者委託)。利用を希望される方は、講座開講日の10日前(土日祝日除く)までに、直接委託先へお電話ください。先着5名までです。

<委託先> (株)テノ・コーポレーション

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10
☎0120-8000-29 (受付時間:平日9時～19時)

■お申込み・お問い合わせ

福岡女子大学 地域連携センター

TEL:092-661-2728(直通)/092-661-2411(代表) Fax:092-692-3220(番号が変更しました)
E-mail:rcle@fwu.ac.jp URL:http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。